



顧 俊堅 Gu, Junjian

ビジネスサイエンス系

E-mail : gu.junjian.fw@u.tsukuba.ac.jp

Lab web page : <https://sites.google.com/site/2015gjunjian/home>

学者の杜 : <https://ura.sec.tsukuba.ac.jp/unit-members?kid=10820433>

Kakenhi : 10820433

Orcid : <https://orcid.org/0000-0002-5306-058X>

Affiliation : Faculty of Business Sciences

研究テーマ

- 海外直接投資における国家間の距離と企業リスク
- 会計学、経営学などを中心とした実証的研究

Keyword Empirical accounting research, Cross-location analysis, Taxation, Auditing

研究ハイライト

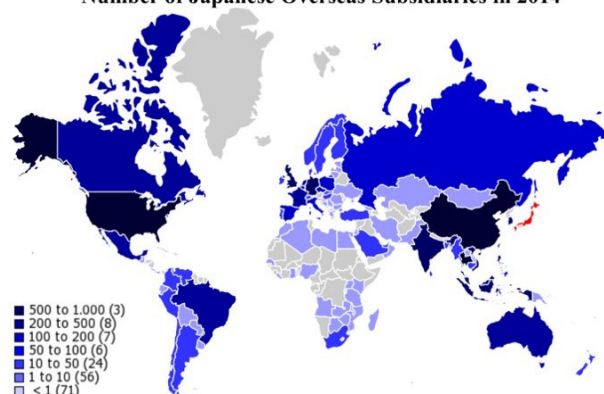
Highlight

日本金融庁は企業の海外戦略を重要視して、海外進出活動に支援しやすい環境を整備している。海外進出の行動の中には高い企業リスク（例えば、高い監査報酬や、低い実効税率や、高い裁量的発生高など）要因が潜み、失敗につながっていく。そして、海外進出行動に関するリスク要因（例えば、自国と海外進出国との差異）を無視すると、ネガティブな結果が生じる可能性が高まる。故に、「海外進出」は社会として必要不可欠な研究キーワードだと思われる。

この研究の特徴としては、二つ挙げられる。第一に、日本企業における海外進出行動の視点から（国レベルの国家間の距離）、企業リスクを計る三つの尺度（企業レベルの指標：監査報酬、実効税率、および裁量的発生高）を手段として、多国籍企業における企業リスクを検討した点である。また第二に、マハラノビス距離の計算方法を用いて、国家間の距離（地理的な距離だけではなく、文化的な距離や、

経済的な距離、政治的な距離、知識的な距離、人口的な距離等、多方面からの距離を測定する）を説明変数として使用した点である。これらは会計の実証的研究に関する先行研究においても、ほとんど検討されていないポイントであり、本研究の貢献となることを期待している。

Number of Japanese Overseas Subsidiaries in 2014



Source: Made by author with the map generating tool based on the data from the Toyo Keizai's Overseas Japanese Companies Database

研究の応用・展望

Applications and Prospects

本研究の研究手法と実証結果が、管理者のみならず、社外の利害関係者（例えば、投資者や、税務署、会計基準設定主体、監査人、その他の利害関係者）にも示唆を与えることが期待されている。

文献・知財・作品

Literature, intellectual property, work

- Gu, Junjian. Country Portfolio and Taxation: Evidence from Japan. *Journal of Business Ethics* (2020). <https://doi.org/10.1007/s10551-020-04660-9> (SSCI 2019 IF 4.141 Q1; FT Top 50)
- Gu, Junjian. Risk Assessment on Continued Public Health Threats: Evidence from China's Stock Market. *International Journal of Environmental Research and Public Health* (2020), 17(20), 7682. <https://doi.org/10.3390/ijerph17207682> (SSCI 2019 IF 2.849 Q1)